

第2回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】平成24年3月1日（木） 午後6時00分～午後8時00分

【場 所】役場（大会議室）

【出席者】委員～10名（欠席5名） 町～14名

委員	太田裕治		中村尚子	×	廣部健二		萬 孝志		山口俊哉	
	萬 由美子		千徳信行	×	三原 新		山 節子		横尾良昭	
	佐々木修	×	梅澤由香		堀 真希	×	加藤智恵美	×	米内公大	
町	北町長、三本副町長、篠田ふるさと振興課長、秋葉課長補佐、南くらしと財務課長 鈴木教育次長、岩口おもいやり課長、小澤健康ふれあい課長 事務局：碓井課長、相澤係長、遠藤主事、星野主事、都築主事、高橋主事									

1. 開会 碓井課長

皆様一日のお仕事のお疲れのところ、またご出席頂きまして大変ありがとうございます。若干お見えになっていない方がいらっしゃいますが、時刻となりましたので、ただ今から、第2回目のまちづくり町民委員会を進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめに太田委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。

2. 委員長 あいさつ

本当にお疲れのところお集まりいただきまして、今日は3月1日ということで、本州では桜が3月には咲くということですが、今の奈井江の状況を見ますと、例年になくらい非常に雪が多く、除雪または屋根の雪下ろし等をいろんなことで大変なことを迎えてきたのではないかなと思います。

奈井江町は適正な予算を目の前にして本日町民委員会を開催しますけど、今年はいろんな意味で新しく施設もできる構想もありますし、色々な形で町自ら考え方を聞く絶好の機会とっておりますので、何度も言いますように私は皆さんの意見を必ず一人は1回意見をいただくという趣旨で委員会を進めていきたいと思っておりますので、意見を言っていただき、24年度の町の行政に反映していただければと私の方からも思いますので、是非ともご協力と、ざっくばらんなご意見も賜って進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

3. 町政運営等に関する主な動向について

町では今まで、多様化、高度化する行政サービスの向上を目指しながら、様々な分野で近隣市町との広域連携を進めて参りましたが、1月19日、報道でご承知かと思いますが、歌志内市、上砂川町、浦臼町の近隣4市町の首長が、この会場に集まって、体育館やプールなど、25の施設について「公の施設の相互利用協定」の調印式を行いました。

本日、区長回覧で配布したものをお手元に配布しましたので、これをご覧いただきたいと思っております。来月4月以降、今まで町外の住民に対して設定されていた“利用制限”や“割増し料金”が解消されました。4市町の住民が気軽にこれらの施設を利用することが

できるようになりました。

行政区域の垣根を越えて公共施設を利用できるなったことは、住民に新たな負担を徴収することなく、多種多様な施設の利用が可能になる。地域の連携、一体感が醸成されるなど、大変意義深いものだと考えているところでございます。これらの政府改革といいますが、役員会などで話題になりまして、各市町と垣根を越えてそれぞれの施設を合議を決めて利用し合おう、ということが話し合いの中に出ておりました。そういう点では精神的な役目を果たしているのではないが、これも町民委員会の助言等のおかげだと感謝を申し上げますところでございます。

次に地域活性化ホールの基本構想についてですが、昨年末には各界各層の町民ほか、中学生、高校生からもアンケート調査を行いました。また皆さんからいただいたご意見を参考にしながら12月26日と2月2日に、私と農協の杉本組合長、石川商工会会長の3名による、地域活性化ホール3者代表者会議で話し合いを重ねながら、ホールの基本構想をまとめました。詳細については、この後、担当課長より申し上げますが、私の方からも申し上げたいことは、このホールの建設に向けた考え方、少子高齢化が進む中で、町内においても地域の繋がりが、非常に希薄になり空洞化を起こして、高齢者はもちろん若い人たちも含めた交流の拠点が重要だという考えに至っております。駅前商店街やAコープと一体となった生活支援の拠点を構築し、高齢者自身が買物などで外に出て、町民相互が交流できる環境づくりと農業や商業・工業、それぞれが持つ特色や力を結集して、農商工が連携した施設づくりに努めるといった点にあります。

また、東日本大震災の影響から、今、国や道も防災計画の見直しを進めておりますが、そういった中で新年度には市町村もその方針に基づく防災計画の見直しを行います。

このホールにおきましても、市街地域のバリアフリー化した施設として、防災対策上の避難所としての役割も果たせるように、今後、検討をして参りたいと考えています。

この後、またご意見をいただき、方向性を確認しながら具体的な実施設計を進めて参りたいと思いますが、施設の運営、地域の活性化についても農協、商工会3者しっかりと議論を行いよりよい施設にして参りたいと考えておりますので皆さん方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(委員長) 今の町長のご報告で、ぜひ質疑応答・意見交換をしたいと思いますが、皆さんから今の町長のご発言の中で何か感じるものがあれば、せっかくだから横尾さん、公共施設の共通の活用というのはどうでしょうか。

(委員) 構想としては、私はよろしいのではないかと思います。

(町長) 実は公共施設の広域連携といいますが、広域的に使うことについては、お互い各市町と話し合いをいたしまして、確認をいたしました。その中で、新聞記者会議で新聞にも大きく全道的に報道されましたから、記者の中で砂川も含めて考える必要があるのではないかという話ができました。そこで砂川市長さんにこのことを話したら、私も興味を持ってますよという話をしまして、担当の教育委員会で接触をしまして、どこまでどういう風に行くかを含めて、住民の立場に立ってということをお願いしております。砂川は町外が利用するにあたっては相当高いそうです。そのようなことも含めて、議会で

も議論をしなければいけないという話はしていましたが、近隣市町で住民が使い勝手のいいようにしないとお互い施設ばかり作るのではなく、利用し合うということを協力し合っていく事が大切だなという話です。

(委員長) これについては何かご意見がございましたら、どうぞ。山口さんどうですか。

(委員) 浦臼の野球場とかは、利用させてもらっているんで、大変ありがたいと思っております。歌志内はチロルの湯の横の野球場はすごい立派な施設だと。でもこれを見る限りではそういうのは載っていないですね。

(鈴木次長) 相互利用につきましては、教育委員会サイドでお話をしているのですが、教育委員会が所管している施設ということで、対応させていただきました。また各自治体の状況、使用によりまして、歌志内市につきましては、当初はこの施設でお願いしたいということなので、今後におきまして、お話があったような施設を含めて、また観光施設、スキー場を含め今後拡大をするということの検討はしなければならないと思っております。

(委員長) このような形で進めて参りたいということで、皆さんと共に広めていきたいという感じもありますので、どうかよろしく願いいたします。それでは議題に入りたいと思います。

4. 議 題

(1) 新年度予算の概要について (南くらしと財務課長説明)

(委員長) ありがとうございます。この予算ということで、数字も、もちろんなのですが、主な事業について皆さんも感心があるのではと思いますので、お一人ずつ何かご意見をいただけますか。

(委員) 地域活性化ホールについては、皆さんが利用しやすい施設となるように、設計ができたから、それで終わりということのないように皆さんの意見を聞きながら造ってほしいですね。

(委員長) 地域活性化ホールの説明もありますので、その時にでもご意見ください。

(委員) 地域活性化ホールとあわせ、教育・文化の部分で奈井江中学校の耐震についても事故のないように実施していただければと思います。

(委員) 小学校の改修が2年がかりで行われますが、現状のままできれいにするのか、どのような改修なのでしょう。

(鈴木次長) 外見については今と変わりませんが、外構工事や水回り、内装や照明や窓枠などの全面改装を行います。あと、体育館のステージや放送室なども行う予

定で、学校の授業がありますから、夏休みや冬休み期間中になりますので、事業が2ヵ年に渡ります。来年統合になった秋には、きれいになった教室で授業ができるという計画でいます。

(委員) 子どもの医療給付事業の拡大で中学生までの医療費給付は大変助かります。小さい時に病気がうつったり、何週間も病院にかかります。ウチは子どもが3人いるので、この事業はぜひ継続していただきたいと思います。教育について、小学校の統合があるのですが、統合の説明会でも親が心配していることは、新しい環境で馴染めるかということですよ。難しい年頃の子どもたちは特に女の子が多いのですが、グループができてしまったり、悪気はないのですが、色々あると思うので、統合の前に交流していただける機会を設けていただければと思います。

(鈴木次長) ご心配されていることはやはりあると思いますので、新しい学校をどのようにしていくかということで、奈井江小学校と江南小学校の校長先生を筆頭に教諭も含めどのような学校づくりをしていくかということを協議をしています。統合にあたっての心配事ももちろんありますので、新年度に交流を含めた事業を展開し、来年スムーズに学校生活できるような事業を考えています。もう少しすると、学校の方から教育委員会へ事業の概要説明がいただけると思いますので、そのような心配事がないように努めて参りますし、何かありましたら、教育委員会に言っていただければと思います。

(委員長) 予算がこのように示されていますが、私たちにこのような予算が必要ということであれば、町長をはじめ受け入れてくれると思います。町民委員会でも意見の中で予算に反映されることもあるかもしれません。

(碓井課長) 関連して補足説明させていただきます。この予算が3月の議会で議論をされ、4月からこの予算の中でスタートします。みなさんご覧になったことがあると思いますが、このまちのデザインという冊子を作り、役場の担当や予算の中身を限られたページの中で書いて全戸に配布する予定となっています。こちらについても照らし合わせながら、ご覧いただければと思いますし、分からないことがありましたら、このまちづくり町民委員会でも遠慮なくご質問いただければと思います。このまちのデザインの中には役場の課の名前や担当者の名前も掲載していますが、今回の議会でも議論いただきますが、役場の機構を若干見直すことを検討しています。目的は今の時代にあった行政サービスをきめ細かく行いたいという思いです。例えば現在ふるさと振興課という課があるのですが、建設・土木・農業・商業・工業広く産業関係を持っているのですが、分割をして、建設部門と農工商とを分けて仕事をきめ細かくやろうという議論をしています。それに伴い役場内の係の場所が移動したりすることがありますので、その部分も含め4月以降に広報していきたいと思います。

(2)(仮称)地域活性化ホールの基本構想について

(篠田ふるさと振興課長より説明【資料2】)

(委員長) 大変大きな事業の中で、今回の地域活性化ホールの基本構想として提示されたわけではありますが、今回の予算の中でも一番の目玉事業とって過言ではないと思います。町民のみなさんもいろんな形で関心があるのかなと思います。前回の漠然とした構想と比べると今回は考察も入って非常に踏み込んだ形でやるんだという構想の資料として提示をされてきたと思うんですが、まずはそういった構想をみて、前回と比べて、また、今後のことと含めてどう思うかということだと思うんですけども、率直なご意見を賜りたいと思いますが、米内さんどうでしょうか。

(委員) 前回終っていろいろな人に聞いたら、このような施設を造ることが否定的な人が多かった。この施設は本当に必要なのでしょうか。大規模な事業をやるにあたってアンケートを行う時期が遅かったのではないかなと。決まってしまうからアンケートを行っているような感じです。一般町民にはアンケートを行っていないのですか。事業所に勤めている従業員しかしていないのですか。

(篠田課長) アンケートを実施するにあたりまして事業所にもご検討していただこうと、それと商工会、農協にもご協力していただくという形になります。あと、高齢者の方はどうしようかということで、単体の老人クラブが20ほどありますので、老人クラブ会長、副会長と連合区長にもご協力をいただきました。あと、高齢者支援ネットワーク懇話会ですとかまちづくり町民委員会の場で、みなさんからもご意見を直接聴きながら、商工会、農協と協力しながらみなさんにご協力をいただいたところでございます。その中で、子どもたちもこういう風に考えているのかということで、奈井江中学校、奈井江商業高校の生徒にご協力をいただきながら実施したところでございます。

(委員) 人数的に統計学で言ったら妥当なのでしょうか。

(委員長) 町民全部に配布するというのも、もちろんあるのでしょうけど、これをまとめるとなると時間は相当かかりますよね。こういったことを含めたらざっくばらんにどうなのかなとも思うのですが、どれぐらいのレベルで行ったらいいと思いますか。

(委員) 全町民できればとは思いますが、統計学ってあるじゃないですか。奈井江の人口6,000人の規模に対し、何人ぐらいのアンケートを取れば、全体の意見として有効になるのか。

(副町長) 統計学的にという説明はできませんが、行政的に仕事をする上でどういう手法をとるかということ、たとえばこの町民委員会であれば、みなさんがそれぞれ

れ背景にもっていらっしゃる母体の中からご意見をおっしゃてるのだらうと思います。それぞれが持っている背景で、最終的には個人的なご意見を自由に言っていただくという場であるのですが、今まさに周りの人に聞いてみたけれどもということは、そういうことを背景にしているということですから、この場事態がまず一つ大きなそういう意見の場だと私どもはおさえています。そういう意味でこの委員会そのものが町の条例に定めた委員会なのです。みなさんの意見を町民の代表者として言っていただいた意見は、町民の多くの人たちの意見だらうということです。

例えば、具体的に計数的なものを作ろうとしたらですね、国民健康保険のときなど、間違いがないか点検するときに1,000人ぐらいの中から100人を抽出するという方法もあります。統計学的な言い方をすると、それで間違いがあるかないかということの検証ができるようなこともあって、今回の場合は、まず町民委員会の皆さまにもこの間ご意見を伺って、横尾さんの意見も解説の中に入れさせていただいていますけども、そういうような形でできるだけ反映する場としてこの場があるということと、もう一つは高齢者支援ネットワーク懇話会というのが別でありまして、その中でいろんな意見の中でここに書いてあるとおりとにかく集える場所が必要だ、と切実な訴えがあって建てようということを決めたんです。決定してせっかく建てるんだから良いものを造りたい。そのためにみなさんからご意見をいただきたいよという形のアンケートです。

今までの行政の建ててきたもので図書館、プール、体育館を造る時は、奈井江町には体育館がないから体育する場所が必要だ、というはっきりとした目的を持って建設をしてきたのですが、今回の場合はまさにここに書いてある高齢者の人たちの生活を支援するためにはどういったものがいいのかといった時に、音楽ホールとか体育館とか具体的なものではなく、まず人が集まる場所が必要だらうということで、意見の一致をみてスタートをしているということなので、それを具体的に良くするためにアンケートを求めようとした時に、企業としては若い人たちの参加の場としてまたその高齢者と一緒に使うとしたときに、どういう使い方がありますか、どういうものを求めますか、という形でのアンケートをさせていただいたので、建てるのがいいですか悪いですかというアンケートではなかったのは確かです。その違いはありますが、ご理解をいただきたいと思います。

(委員) 急ぎすぎるような気がした。

(委員長) わかりました。もちろん意見ですから賜りたいと思います。

(委員) 今のお話と関連があるのですけれど、このことに対して巷でいろいろと話聞くのですが、使用する方はたぶん一般の方だと思うのですよね。高齢者もいるのでしょけれど、奈井江町の住民の方のアンケート全部で423通だと人口1割の600人より少なく、もうちょっとアンケートしたいという方が結構いたんですよね。その方からの意見や要望をもっとたくさん聞けたらいいので

はないでしょうか。

(委員長) もうちょっと多かった方がよかったという感じを山委員さんも受けているということですね。

(委員) 使う方が多分一般の方だと思うので、老人クラブの会長さんも、もちろん使われるのでしょうか、その人たちばかりが使う訳ではないともいますので、そのような意味でも、もっと一般の方のアンケートを、と思いました。

(委員) 活性化ホールと駅まで雨にあたらないような渡り廊下のようなものを造ってはどうか、自転車の駐輪場もつなげて、雨にあたらないように駅から活性化ホール、そして農協に買い物ができるようになればよいと思います。それと、アンケートで老人の足ですが、タクシーを呼ぶ場合の何か進んだ意見はありますか。というのは農協に買い物をしてタクシーを呼ぶ場合や、活性化ホールでタクシーを呼ぶ場合、例えばボタンを押せば来るというシステムをタクシー会社で経費をもってもらうのはどうでしょうか。

(篠田課長) たしかに駅から雨に濡れないでホールに来れるようにというご意見はあります。ただ、基本構想概要版8ページをご覧くださいなのですが、平面図で東1条通という町道があり、多くの町民が利用される公共の道路です。農協の選果場もありトレーラーも通行しており、本当ならアーケードのようなものがあれば一番いいのでしょうか、非常に難しい現状にございます。そらとタクシーの呼ぶスイッチについては、今後、実施設計の中で地元のタクシー会社に何かよい方法はないかどうか協議し、いいものがあれば取り入れたいということで検討したいと思います。

(委員) 奈井江町の葬儀参集者はだいたい200人程度だろうということですが、入りきれないことも想定される。最大でやはり200人の収容の設計なのでしょうか。

(篠田課長) ロビーのほうとの仕切りについても今後、実施設計のなかで検討していかなければならないのですが、パーティション形式にして取り外しができ、200人程度の椅子が入れるようなものを考えておりますけれども、パーティションを外すことによってまだ入れるようになるとか、まだ和室の位置についても今まだ横の位置にあります。工夫すればこれらの部分もパーティション形式によって増やすことも可能となります。いずれにしてもその点については実施設計の中で検討したいと思います。前にもお話しましたが、葬儀屋さんの話では平均で150人程度であり、著名な方は多いですが、だいたいその程度で足りるのではないかと思います。

(碓井課長) ホールの検討にあたって浦臼町の施設を職員で視察し、その時に面積に対して最大何人位なのか聞いたところ、だいたい1㎡に一人くらいの換算であり、

この概算の床面積で 240 m²で 200 人程度のイス置いているので、参考になるのかなど。先ほど申し上げたパーテーション等色々な部分で研究していくべきだと思っています。

- (委員) 米内さんと同じなのですが、人に聞いているのと、このアンケート結果の冊子を見て疑問や否定的な意見がとてもなくびっくりした。ただ造るということが決まったことですので、建設的な意見を言っていこうと思いますが、間取りとかは、まだ変更可能ですか。この冊子が届くちょっと前に商工会のほうで間取りの案を出したはずで、ちらっと見たのですが全然違う間取りなのでまだ変更可能かなと思いこの会議に参加したのですが、今説明を受けたらそういう話はなく、もうこれでいくというイメージを受けました。町の代表者と言ってくれているのに、僕らが意見を言って反映してもらえるのでしょうか。
- (篠田課長) 三原さんのおっしゃるとおり、商工会から図面プランの提案がありました。まだいただいたばかりなので、3 者の連絡調整会議の議論には至ってないのですが、その中でいろいろ協議しながら、すでに 3 者の中で基本的な考えの部分について合意していますので、その部分と照らし合わせながら、取り入れるものは取り入れ、ダメなものではできないですときちっとお互い 3 者の中で確認しながら進めていきたいと思っております。その結果を踏まえて 3 者代表者会議でも検討した結果を報告し最終的な判断を仰ごうと思っております。
- 新年度に入ってから実施設計を進めていきますので、まだ平面的な部分では設備等も含め最終的にはランニングコストの部分も考えなくてはならず、経費がかかるような設備などの部分も十分検討しながらどういう平面プランが一番皆さんにとって使い勝手がよく、利用しやすいか今後十分詰めていきたいと思っておりますので、これで確定したという話ではなく、まだまだ動く可能性はあるということです。
- (委員長) 私も第 3 者連絡調整会議の中に入っております、最初に比べれば大分意見を取り入れているのは事実です。はじめは失礼ですが討議ありきでつくっていた構想だったような気が正直するのですが、今、葬式優先の話が出ましたけど、実際は町民が非常に集えるようにという書き方になってきているのは、私も見て事実だと思います。いるかいないかの話になるとそれは不問の議論になるのですが、やはりどうやって町民が楽しく集える施設にするかという方向に変えてきていただいているのかなという印象があります。図面も決定ではなくまだ流動的だというお話もいただいたので、皆さんも使い勝手がいいように期待できる場所でもあると思います。
- (副町長) 先ほど担当課長から説明したとおりですけれども、アンケートの結果 2%ですとか決して調整はしておらず、そのままの数字であることと、意見として番号がたくさんありますが、一人の方が 10 個位の意見を言ったりしているものあり、意見の数としてはボリュームがあるけど人間としては少ないことの

表れでもあります。ですから後ほどよく読みこんでいただければと思います
が、数としては今回のアンケートの中では考察の中で出ているとおりのかた
ちになっております。基本的な考え方として3者で合意しておりまして、背
骨の部分でありますので変えるべきではないと思っていますし、アンケート
の中で葬儀をしているときは、ザワザワして葬儀ができないということのな
いようにきちんと葬儀をしてほしいという意見があるのと同時に逆にいうと
交流サロンの方でお年寄りや子供たちがあそんでいるときに葬儀の感じがし
たら、それはそれで居づらいわけですから、その辺はご意見の中に書いてあ
ります。

そういうものを整理するとこのような絵になるのかなというものでこの絵
があります。そして、それらを言葉で表したのが「考え方」という文章です
ので、ここのところだけはきちんとおさえて、今、三原さんからおっしゃら
れた商工会さんからの図面だとかいろいろなものを加味しながら最大限にい
いものを作っていこうということです。そういう意味で先ほど課長が言った
とおり、骨の部分はどうしても変えられないけれども、変えられるところは
変えるし、出来ないものは出来ないというそういう整理をもう一度きちんと
しなければならぬと思います。

(町 長) 今話ありました皆さんからのご意見ですが、基本的には例えばこの施設がど
う運営されていくか、どう必要性があるかどうか、これは私どもとしては率
直な話、各施設を作るにあたって今までニーズをとったとかそういうことは
無かったわけです。しかし、その必要度は高齢者ネットワークにおいて随分
出ていることはご存じだとは思いますが、その中でまず一つは具体的に言え
ば、マチの中が空洞化し、過疎化しているということです。チューオーも2
月20日に閉めてしまい、そのあとどうなるかという問題もあります。

先ほど課長からも説明がありましたがお葬式も75%という平成22年の
データですが、そのあと含めていいますと、80%くらいが町外でやっていま
す。新砂川農協の組合長さんがおっしゃっていましたが、砂川のスーパーは
やはりお葬式がればどんどん売れるし、奈井江は本当に赤字になってきてい
ます。

ご存じだとは思いますが、Aコープ空知太がこの1月に閉鎖しました。そ
うすると地域の人たちが、無くなってから相当言ってきたそうです。そこで
農協は砂川のAコープ行きのバスを出したところ、たくさんの方が乗車して
いるそうです。それだけ買い物というのは、お年寄りは身近なところでした
いということです。私も南町3区の会合にお年寄りが中心の30人以上の人が
集まった桜ヶ丘団地に呼ばれました。その中で「町長、今度チューオーが20
日に閉まって農協まで買い物に行かないといけない、もし農協が無くなっ
たらどうするんだ」というお話がありました。町が経営して出すわけにはいき
ません。したがって、やはり周辺環境を整えないといけません。

実施については、町としては決断しています。決断してその内容をどうす
るか、アンケートを職員の皆さんが集計して、一部だと言われればそのとお
りですけれども、しかし今までそういうことに対する目的がはっきりしてい

たということはありませんが、しかしできるだけ広く子供からお年寄りから皆さんどういふふうにご利用をするかということで皆さんから意見を聞いてやはり使い勝手のいいように内容の充実したものにしなければいけません。こういふことが、2段階ステップで出てきているということも事実です。すでに昨年の9月議会でも十分説明をしながら意見を交換しているということもありますが、町民委員会ですとか、高齢者支援ネットワーク懇話会などでもできるだけ町民の意見を聞いてニーズに合うようにやっていくことも事実です。全町民と言われればそれまでですが、できるだけのことを集約して活かしていかなければいけません。そして町民委員会の委員さんにも言われたことをどう活かしていくかです。

太田委員長さんも言われていましたけれども、最初の頃と大分変わってきた。変わってきたというよりも町民の皆さん意見を聞きながら、それを活かしながらどうやっていくか、ということも含めて今日にきているということの一つご理解いただきたいと思います。

前回の町民委員会でお示ししまして、意見をいただいたのですが、その時に設置するかどうかということも含めて聞いたことも事実です。その時には皆さん方から意見はあったのですが大勢の中ではぜひ（施設を）設置していただきたいという総合的な結論であったということで私どもは踏み切って今日にきていると一つご理解いただきたいと思います。

そして、葬儀については残念ながら町民の方が亡くなる人は80人から100人いるのですが、希望としては、やはり身近なところでお参りしたい。冬になりますと砂川、滝川行くとなると大変なのですね。こういうこともあってやはりこのホールは有利な国の借金を使ってできるだけ身近なところで葬儀を行える施設づくりを考えたいと思います。

それと今一つはAコープは赤字だということを知っています。場合によっては経営だけを考えたなら撤退するかもしれません。そうすると買い物難民といえますか、そういったことは本当に不便であり、これら空洞化を防ぎながら、過疎化を防ぎながらどうやってこのホールを活用しながら活かしていくか、生活支援にもなりますけれども、そういった意味で広く皆さん方の意見を聞きながら、ホールを構築していきたいと考えております。

各事業所のいろいろな会合のなかで話題を出しながら聞きとっていることも事実です。ただ、まだ弾力的に皆さんの意見を十分入れながら、実施設計まで入っておりませんから、実施設計に入る前に皆さんの意見をいただいて、どのように活用していくか、前向きなご意見いただければ、なお一層いいものができるのではないかな、こういうふうに思います。ご協力の程お願いいたします。

（委員長）大変町長の熱い思いも伝わったのかと思いますけれども、いる、いないというよりも、議論的な部分は省いて、今後の活性化ホールの育成というかどうかやうまく町民の宝となるような施設になるかという方向の前にちょっと進むカタチで、もしご意見があればお願いします。

(委 員) 副町長が言うようにやはり地元で葬儀ができれば非常にお年寄りなんかは行きやすいです。前回農協で一回葬儀があった時も「奈井江にこのような施設があればいいな」という声はやはりお年寄りから聞こえてくるわけです。というのは告別式を2日間お参りができるということで私はこの施設はいいなと思ったのです。ただ問題は、葬儀があった場合には葬儀が優先されるということはちょっとひっかかるのです。年に葬儀が80件位で、75%が町外に行くということですが、はたして75%丸々ホールができれば使用できるということではないと思うのですから、もし事務局のほうで75%のうち何割位がもしできれば多目的ホールを使っていたら構想あるのかどうかお聞きしたいです。もしその数によってイベントなどを予定した時に、急に葬儀が入ってイベントや会議ができなくなった時にそういうトラブルの問題が生じることがあるのではないかとその辺が懸念されると思います。

それと合わせて、図面を見るとイスが180脚なり用意した場合、この図面からいくと器具庫が狭いのではということが懸念されるものですから、もしこれらのイスの場合はどのようにするのかということも計画の中にあるものが、それともう一つ合わせまして、おそらく普通の家庭で家を建てると物置や車庫などが付随して出てくると思うのです。ところがこの中で果たして屋外でできる車庫とか物置を建設できる土地も用地のなかにあるものなのかわかりませんので、おたずねします。

(篠田課長) 年間葬儀がどれだけ行われるかはわかりませんが、できた施設を皆さんに見てもらって、この場所でできるのであれば、ご利用していただくことになると思います。

器具庫については、健康器具をホールに設置し、イベントがない場合はそれらを出してあげて皆さんにご利用していただくという考えでいます。ですから今後、逆にイベントや葬儀がある場合はここに収納しなければならないということで可動ができる健康器具を考えていかなければならないと思います。スペース的にどうあるべきかという部分を含めて今後の実施設計のなかで十分議論をしていきたいと思っています。屋外につきましては、物置も必要かどうか今後検討しなければならないと思っておりますが、できれば屋内の中での管理収納ができるようなことを検討していかねばならないと思っております。いずれにいたしましても3者のなかでいろいろと議論しながらまた皆さんの寄せられたご意見なども参考にしながら検討していきたいと思っていますのでよろしくお願いたします。

(町 長) 浦臼町と新十津川町には葬儀場があり、ほとんどが地元でやっています。それだけ付け加えさせていただきます。

(委 員) 葬儀なぜ75%が町外でやるかというところと鷲尾さんとかベルコさんは互助会があるのでその関係で町外に出ていくのかなと。今回のホールではこの互助会は使えるのでしょうか。

(篠田課長) ベルコさんは積立をして結婚祝賀会、葬儀も含めて互助会の制度があるらしいですけど、鷲尾さんにつきましては、通常は入ってなくても、もし利用したいとなれば、たしか1万円くらいで互助会に入れる。そうすると料金的に安くなるというお話です。私どもの建てる施設は町の施設ですので互助会の施設にはならないのかなと思います。いずれにしても葬儀をとり行うにあたっては鷲尾さんなり専門業者が会場に入って設営することになるのかなと思います。

(委員) 結局互助会に入っている人が多いと思うんですね。だとやっぱり町外に行ってしまうのではないのでしょうか。

(副町長) 私も父親が3年前に亡くなった時に鷲尾さんにお世話になって、互助会に入ったら安くなりますよというお話がありました。でも、例えばお寺とかでやっても、鷲尾さんがセッティングしてやってくれますよね。奈井江町が葬儀をやるわけではないので、場所を提供するだけですから、そこは問題ないと思います。やはり近場でやりたいところでやるということになると思いますが、あくまでも場所として確保するという事なので、どこの業者さんが、ということではありません。

(委員) あともう1点ですが、この施設を良くするためには設計が大事だと思います。世の中には立派な設計士がいますので設計コンペみたいなのを開いてはどうでしょうか。いい例が道の駅で外見は立派だけど中はどうも使い回しが良くない。やっぱり設計士が有能な匠みたいな人にこういうふうにしたいといえれば、何1,000件とやってきた先生ならいろんな案がでてきていい建物ができるのでは。そういうことは可能でしょうか。

(篠田課長) 今皆さんにご説明申し上げた基本構想で先ほど副町長からもお話ありましたが、骨組はもう決まっております。あとはそれをどう皆さんが利用しやすいようにしていかなければならないですし、管理運営をしなければならないですから、それらのことも考慮しながらやっていくというかたちになります。骨のほうはもうできていますからそれをいかにどう設計をこなしていくかというかたちになりますので、町の発注する委託業務になりますので、当然指名競争入札になると思いますので、町のほうに指名願を出している専門業者に発注をしていくことになるかなと思います。ですから、建てる段階でのコンペでやられる場合は今言ったようなかたちでプランなどを持ち寄ってもらってどれを採用していくかことになるのかなと思いますけども、建てる中身、内容についてはある程度固まっていますので、それらの私たちの取り込んでいきたいことを設計業者さんのほうにお伝えをしながら、業者さんは専門的な形でそれをどうまとめて実施設計を組んでいくかというかたちに今後なっていくと思います。

(副町長) 要するにこの施設そのものが、おしゃっているコンペに見合うような建物か

どうかだと思います。奈井江町でコンペをやって建てた施設は奈井江温泉と農業改善センター、屋内体育館だけです。ほかの施設については今課長が説明したとおり、こういう形のという基本的なものがありますので、温泉とは違って外観どうのでもなく、機能のものであれば、きちんと指名願の出ている業者から道内でもトップクラスの業者も指名願に出ていますので、その中から受託をしてやっていきたいと思います。

(委 員) 農業や商業とか工業の代表の方で柱を決めてますよね、代表の方たちはどんな人たちですか。

(篠田課長) 3者というのは、農協と商工会と奈井江町です。連絡調整会議という事前にトップ同士の話をする前に前段の協議を詰めてトップの判断を最終的に仰ぐというかたちにはしています。その3者の連絡調整会議には商工会からは2名の副会長で一人は太田委員長で事務局長も入っており、農協の方は参事、生活部長、奈井江支所長で町の方が副町長以下、私も含めた課長で、皆さんで3者の考えをまとめて最終的に代表者ということで町長、農協の組合長、商工会の会長で最終的に判断をいただいております。

(委 員) もし葬儀で使う時に鷲尾さんとか専門的な業者が入りますが、仕出しとかに関しても農協じゃないところからとることがあると思うがその辺は業者さんにお任せになるのですか。

(副町長) 喪主なり施主なり葬儀のやる方の判断になります。

(町 長) 農協の2階で葬儀を使ってみたけれども、階段があるし、さらには駐車場がないのです。土日は空くかもしれないですが、平日は職員が駐車するのでほとんど駐車できない。車で来た場合ですけれど遠くに駐車して歩いて行かなければならない。お寺でする場合でも、階段があって雪はねもしていなく危ないという人がいる。だから「浦臼や新十津川では自分のところでやっているじゃないか」そういう声が相当あったことは事実です。そういうことに応えなければならぬ。そして、先ほども申しましたが、有利な資金を使って、葬式だけでなく多面的に使おうと。振興局や道にまして皆さんの意見を聞いていると多面的な多角的なことを取り入れてやっていこうというのが本音です。

(委 員) さっき廣部さんが言ったように、もしイベントが入っていたのに葬儀になってしまったというのは、どこか別の場所をセッティングしていただけるのか、単なるお断りになるのかというのはまだ決まってないのですか。

(副町長) これからの検討課題ですけれども、アンケートでもそれは前提として葬儀を優先しますというかたちで、背骨の部分として進めていきたいと思います。ただ、そういう意味で考え方の最後ところに書いてある3番目のところで今ある公民館や文化ホールという施設でサークル活動をしていただいておりますが、

そこは基本としてそこでやっていただきたい。その他でここを使いたい時は使っていただくのですが、葬儀があった時は使えませんというお約束のもとに運営をしたいと思います。ただし、実はこの間、企業さんを回らせていただいて、例えばここで、するとは限りませんが産業祭や商工会主催のふれあい祭りや冬まつりだとか全町的なイベントをやることを想定していますけど、その時は申し訳ないですけど、年に何回かは逆に葬儀は入れませんよということはあると思います。ただし、そうではなくて、100人規模の研修を申し込んでいるけど葬儀が入った時、農協の2階の100人が収容できるフロアがありますので、そこを使うのはどうかと農協の組合長さんとも話をさせてもらいました。そういう意味も含めて農協さんとか商工会さんとか、商工会さんの部分では仕出し弁当とかもそうですし、農協のためにやるわけではないですから、町内の業者さん全部が入れればいい話ですし、農商工の代表と言っているのは別に農協が全部やるとか商工会の会長が全部ということではなく、この3つというのがまさに奈井江町の全部だと思っています。その人たちの代表者ですから広い見識を持っていて、みんなそれぞれの業界のことをわかっていただいてご意見が頂けるのかなということで農商工3者で協調して進めましょうという言い方をしておりますので、その他に例えば社協さんだとか、老人クラブだとか実際に使う人の意見をいただきながら反映していこうということですので是非ご理解ください。

(町 長) 今萬委員からお話あったように、町外で葬儀をするとなると町民は大変。特に冬は。そしてバスの手配をしなければならない。そういったなかで葬儀を含めてですが、費用がかかりすぎるといった苦情も相当あることは事実です。だからというわけではありませんけれども、身近なところで出来るだけ費用をかけないようにしながら、町としてはそれらの支援をしていきたい。そういうことが目的のなかに入っております。そしてマチがだんだん寂れていく、したがって先ほども申し上げましたがAコープとかがなくなったら死活問題になる。チューオーがなくなって南町の人はどうするんだという話が出ています。こういう現実をきちんと見ながら我々行政はやっていかなければいけないと思いますのでご理解をお願いいたします。今日でなくてもいいですから色々意見を言って下さい。

(委員 長) これから運営の方法等、まだ流動的な部分も過分にあると思いますので今後の町民委員会の中で出てくると思いますので、地域活性化ホールの基本構想については一旦閉めさせていただきます。

(委員 長) その他何かありますか。
委員一同～なし

(委員 長) 今日は素晴らしい議論をお聞きさせていただきましたし、今後の地域活性化ホールについては、これからますますいろいろなかたちで逆の意味で話題に

していただいたほうがよろしいかと思ます。たくさんのご意見をいただきたいと私のほうから要望させていただきたいと思ます。

(碓井課長) この町民委員会は基本的に年に 4 回程度開催したいと思っておりまして、次回は春の農作業が終わる 5、6 月にかけての期間でまた計画をしていきたいと思っておりまして。その時々テーマでもってまた議論をさせていただきたいと思っておりますが、今日の議題のホールにしましては、これから設計に入ったり、今後の運営の在り方等いろいろな課題があるかと思ます。その都度皆さんにもご意見を伺いたいと思ますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(委員長) これをもちまして第 2 回まちづくり町民委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。